



もりの手紙

mo ri no te ga mi

11
Nov

NO 280 / 2020

森にこうよ!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

fax. 082-221-1080

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com



新型コロナが
終息し、安心
して暮らせま
すように!

contents

- ★11月例会案内: 15日(日)
「黄金山見晴らし整備」《担当3班》
..... 2
- ★例会報告「スクウスクウの森」
: 秋武
..... 3
- ★10月里山部会報告: 岩田
..... 4
- ★10月クラフト部会報告: 本廣
樹木いきいき講座: 藤原
..... 5
- ★もりメイトキッズ: 佐々木
おしらせ: 食と農の映画祭
..... 6
- ★秋のグリーンフェスタ: 米田
今月のひと枝: エノキ
..... 7
- ★11月・各部の活動予定 他
..... 8



左: 蔓がガンガンに巻き付いた枯れ松。右上: 四阿^{あすまや}建設中。右下: 琴と尺八の演奏(報告 P3 にて)

私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆ 中外工業株式会社
- ◆ あいおいニッセイ同和損保株式会社
- ◆ こだまクリニック
- ◆ ゆめみらい株式会社
- ◆ 株式会社ニシナ屋珈琲
- ◆ イオングループ
- ◆ 中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆ 湯来町 林クリニック

《毎年のご支援 誠にありがとうございます。協賛企業: 順不同: 敬称略》

もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり** 健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く** 森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森を楽しみ森を味わう** 人と森との関わりを拡げます。
- 森から学び森を伝える** 森の恵みを活かし利用する活動。

例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
地域と共に、活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

広島ユネスコ活動奨励賞、ひろしま県民活動表彰・広島県知事賞など受賞歴多数。

案内



～11月例会～ 《担当：3班》 「黄金山」見晴らしを取り戻そう！

【黄金山山頂エリア活性化推進協議会】との協働作業。...
地元の方々と、見晴らしをよくする為の整備を行います。

◆日 時： 11月15日（第3日曜）9時～少雨決行
雨天時は11月29日第5日曜に順延

◆集合場所： 黄金山山頂駐車場

《駐車台数が限られています。連絡を取り合い、出来るだけ乗り合わせてご参加ください。尚、当日は、駐車係員の誘導に従って駐車してください。》

◆持参物： 山の道具・水筒 《名札も忘れずに》

- ※ 準備出来る方は鎌、チェーンソーと目立て道具、スパイク付き地下足袋をご持参下さい。
- ※ 当日の弁当は要りません。庄原産の美味しいお米（ミルクホワイト）、カレー、ホルモン汁など地元の皆さんによって昼食の提供があります！
- ※ コロナ感染防止対策（マスク）も忘れずにご用意下さい

◆申込み： 11月9日（月）までに各班長へ連絡。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は 事務局へ電話かメールでご連絡下さい
090-6419-7531 : info@morimate-ch.com



黄金山との関わりは 2008 年 3 月にさかのぼります。初めの取り組みは、山の南側の中腹には多くの見事な山桜が自生していますが、クズやヤブカラシなど様々なツル性植物と雑木で被われ危機を感じ、【楠那学区 ヤマザクラ救出大作戦】を始めました。これまでに計 12 回の整備を行っています。それに続き、山頂にある桜も周辺の樹木によって生育が妨げられ、見晴しも悪い状態の中、2016 年から 2 回の大整備を行いました。いずれも『ぜひ整備を手伝って欲しい』という地元からの要請に応え、年に 1 度程度関わるようになりました。今後も地域と共に環境保全、眺望改善、地域の活性化につながる活動を展開していきます。伐った後の処理にもたくさんの手が必要です。皆さん、奮ってご参加下さい。よろしくお願いいたします。

※：「黄金山山頂エリア活性化推進協議会」は、大河、黄金山、仁保、楠那の 4 つの学区の社会福祉協議会で構成されており、広島市街を眺望できる黄金山の山頂エリアを、魅力的な観光資源として活性化し、再整備するための取組を行っています。

12月の例会は例年通りありません。1月例会案内は12月号にて。



この度の例会は、地域との交流や琴の演奏など、多数のイベントを盛り込んで行いました。

朝一番で現地に到着♪。早速、5班のメンバーと共に幟の設置、受付、集金、体温測定を実施し、資機材等の準備を8時30分までに終える事が出来ました。チームワークの良さを実感。

9時からは予定通り朝のミーティング。班編成及び作業内容を確認しラジオ体操を終え、**四阿建設班**、**枯れ松伐倒班**、**土砂除去班**、**料理班**の4班に分かれ作業に入りました。それぞれに選ばれたメンバーが協力して作業に取り組み、午前中は事故なく無事に作業終了。

12時からは本堂にて、坊主さんと地域の方4名、倶楽部の料理班3名が腕を振るって準備して下さった料理を頂きながら、「33(さんさん)」のメンバーが奏でる**琴と尺八の演奏**を聴きました。普段では味わえない豪華な演出でした。特に、最後の演奏曲は心が弾む様で午後からの作業に活力を得た気がします。

また、妙國寺ご住職が用意して下さいされたDVDの紙芝居「大きくなってね」では、サプライズで5班の中村さんが朗読を担当し、皆で鑑賞しました。

午後からはそれぞれ受け持ちの作業に入り、**枯れ松伐倒班**では主役の「大枯れ松」の脇役である「第二の松」の伐倒を実施。14時頃、「大枯れ松」伐倒の準備が完了したところで全員が集まり、「ドッスン」と大音響とともに倒れる「大枯れ松」の最期を見届けました。**四阿建設班**は四阿の完成には至らなかったものの無事終了。**枯れ松伐倒班**も目的を無事達成し、ヒヤリハットなく終了。**土砂除去班**は排水路の土砂除去と里道整備、竹林整備を完了しました。15時前には使用した道具の手入れを済ませ全ての活動を終了し、反省会を実施。

本日の例会初参加の吉村さん(25期育成講座受講中)、修道大の大場さん、市内から自転車で駆け付け参加された経済大の早稲田さんから『普段では体験できないことが体験できた』との嬉しい感想を頂きました。

最後に、妙國寺ご住職、お米や新鮮な野菜をご提供下さった「スクゥスクゥの森活・実行委員会」中重さん他、この度は、様々な形で様々な方々にご協力を頂きました。心から御礼申し上げます。



①例会終了後、建設中の四阿の前にて。②土砂除去班作業中。③朝の体温チェック。④DVD紙芝居を読む中村さん。⑤見事！伐倒後の枯れ松の切り株 ⑥お琴は間と余韻を楽しむと教わりました。33のメンバー ⑦炊き込みご飯の栗入りむすび・具沢山のお汁・小松菜の胡麻和え他 ⑧料理班のメンバー

あちらこちらで開催されている秋祭りを横目で見ながら、安佐北区白木町秋山のスクウスクウの森に向かいました。

参加人数は倶楽部員 19 名+スクウスクウの森実行委員会の中重さん 1 名、修道大学の大学生 1 名の計 21 名。

この場所で^{あずまや}四阿建設に携わって、今回で3回目となりましたが、慣れない^{あずまや}四阿の建築作業で、ああでもないこうでもないといながら時間をかけて納得のいくまで検討に検討を重ね、ようやく^{あずまや}四阿の全容を認識できるようになりました。前回の反省を踏まえ、今回から作戦を変更し、仮組みを竹原さん主導で、基礎工事は川原さん主導で行いました。結果は効果てきめん、実行委員会の中重さんから今日の進捗率は 120%といわれるほど進み、25 日の例会には落成式ができ「餅まき」もできるのではないかと期待されるほどです。《後日談：残念ながら例会には間に合いませんでした。》

昼食は、妙國寺から具沢山の温かいお汁の提供があり美味しく頂きました。ごちそうさまでした。

また、今月から行われるこのスクウスクウの森での小学校の野外活動の受け入れに向けて、鎌田さんに歩いて安全を確認していただいた結果、危険な支障木を数本発見、午後から4名で支障木の除伐を行いました。

今回参加した大学生には、見勢井顧問が付き切りで指



仮組みを竹原さん、基礎工事は川原さん主導で行い四阿(あずまや)の全容が見えてきました。

導を行い、斧による新割り、鋸を使い森林整備、支障木の伐倒見学、数名の倶楽部員とソーシャルディスタンスを取りながらの交流と、盛りだくさん。反省会では「いろいろな経験をさせてもらいとても勉強になりました。また来させていただきます。」と感想を述べられました。

終了は少し作業時間がかかり予定より 30 分遅れで 15 時 30 分。最後に、^{あずまや}四阿仮組み班、基礎工事班からの作業報告、ヒヤリハット報告、例会での作業予定を確認し無事終了。皆さんごお疲れさまでした。

次回は、11月8日(日)、続いてスクウスクウの森での作業となります。^{あずまや}四阿の完成を目指します！皆さんの参加をお待ちしております。

熱い思いが伝わります！^{あずまや}四阿建設記録写真



スクウスクウの森の山裾に建ちます；^{あずまや}四阿の遠景(左上) ^{あずまや}四阿仮組み(右上) 基礎工事(下左) 棟組み作業中(下中・右)



健康科学館(樹木の説明)での学習&木クラフト

朝夕冷え込んできました、柿の葉も七色に変化し山も紅葉が始まりました、秋本番です。

9日(金) 安芸高田市保垣にて向原小学校の児童を迎え学校間交流を行い、この様子はRCC [イマナマ]にて放映されました。指導員5人(山本 見勢井 岩田 小迫 本廣)、一般参加者18人。

17日(土) 広島市健康科学館にて木クラフトを行いました。入館に際しマスク、アルコール消毒、



秋のグリーンフェア。

体温測定、問診表の提出を済ませ開始です。最初に「もりメイト倶楽部」の活動、森の役割などの説明を行い、参加者の親子と一体になり樹木を学習しました。今回も親子5組で広い部屋に机を分散し、題材は竹で作った“ピエロ”と、ヒノキ丸太の切り出しから始まる“どんぐりトトロ”です。ピエロは竹筒にひもを通すところに時間がかかりましたが、顔を描き帽子を載せて完成。トトロは自然素材の実や綿、小枝などを使いどんぐりで飾り付けをして仕上げ、個性豊かな素晴らしい作品に仕上がりました。指導員3人(山本、見勢井、本廣)一般参加者11人。

18日(日) 広島市植物園にて「秋のグリーンフェア」に参加。：下記にて報告。指導員9人(竹原、磯貝、本廣、佐渡、佐藤、原島、富安、米田、末本)一般参加者125人。

21日(水) 妙國寺裏山の「スクウスクの森」に、広島市山田小学校の児童を迎え学校間交流を行いました。指導員と一緒に各グループに分かれてヒノキの間伐を行い、持ち帰った材で木クラフトの製作に取り組みました。手ノコで丸太を切り枝を立て、どんぐりや木の実を飾り一人ひとり工夫を凝らし思いのこもった作品ができました。指導員8人(山本 見勢井 北田 北田(正) 秋武 小迫 岩田 本廣)一般参加者23人。

24日(土)「児童デイサービス ゆうゆう」にて木クラフト指導を行い、元気に遊んでいる児童と一緒にヒノキの丸太を切り、“どんぐりトトロ”を飾り付けました。ノコの扱いも慣れてきた筈ですが、丸太切りはやはり大変、先生や指導員の助けが無事に切ることができました。出来上がった作品はとても個性あふれ、いつもながらびっくりさせられます。指導員2人(山本 本廣)、一般参加者9人。今月の一般参加者186人。材料作り、指導員など倶楽部会員参加者55人。

樹木いきいき講座 <その5> 3班 藤原満男

子どもたちが小学生だった頃、島根の県境の農家の親戚で田植えや稲刈り雪遊びなど田舎暮らしをさせてもらっていました。その家のイチジクの剪定に窮した事を覚えています。主幹がどれなのかははっきりせず、ひこばえが20本余り。すべて2メートル程。ひこばえを放って置くと幹の力が弱くなるし、見栄えが悪いのですが、伯父は収穫第一。最終的にひこばえを数本間引きコンパクトにしました。剪定を始める前には、目的や目標、大きさや形、仕上がりのイメージを明確にしておく必要があります。

モミジ類、カンキツ類、サクラなどと同じく、イチジクもカミキリ虫の被害を受け、枯れることが多いのです。対策として、地際から50センチ以上を、石灰又は薬剤塗布又はネットで覆います。カミキリムシは樹幹内で幼虫(テッポウムシ)の形で越冬するので、木くず状の糞を排出している食入孔(穴)を見つけたらクリップを伸ばしほじくり出します。腕の太さでも、イチジクは挿し木が出来ます。水の管理(やり過ぎると根腐れ、足りないと萎れ、いずれも枯れます)が出来れば普通の土で大丈夫です。





10月4日(日) in :大竹市松ヶ原

プログラム: <午前> 森の手入れ <午後> 木工クラフト

環境教育部会長 佐々木 綾子



ヨイショ、すこし重いけどがんばるぞ!



おとうさんもいっしょに木を伐りました



どんなアマビエしようかな?



アマビエでコロナ退散!

今年度は、新型コロナによって開催を見合わせざるを得なかった「もりメイトキッズ」ですが、2回目を無事に行う事ができました。

午前中は、保護者も一緒になって鬱蒼としていたフィールドの木を除伐しました。整備前に、見勢井顧問より森林整備の重要性や広島にまつわる植物の話を伺い、子供だけでなく保護者も興味深く耳を傾けていました。いつも整備に夢中になり植物の名前がなかなか覚えられないので、今回は「コバノミツバツツジ」ひとつをマークして覚え、なぜ切つてはいけないかを説明して整備に入りました。「コバノミツバツツジ」は、ギフチョウなどの蝶が蜜を吸い、春には綺麗な花を咲かせる貴重な木。そこで、たくさんの光を受け光合成ができるよう周りの雑木を倒し、フィールドを明るくするよう体力の限り除伐作業を行いました。保護者の方も一緒に整備に参加し、徐々に調子を上げてより太い木を伐倒。大変な作業量となりましたが、おかげで成果が上がり、フィールドが随分と明るくなり陽もたくさん射すようになりました。

午後からは木工クラフト。私たちの生活を一変させた新型コロナウイルスの疫病退散を願い、妖怪「アマビエ」を作りました。どのような作品が出来上がるのかドキドキしましたが、それぞれの個性を発揮して楽しそうにアマビエを作っていました。子ども達から、「(アマビエを作りながら)自分の体を大切にしたい」との感想が聞かれ、アマビエを作る意味があったかな、と嬉しく思いました。

今年は新型コロナウイルス下での開催にあたり、昼食は提供しない、検温をする、

体調等のチェックに記入していただくなど、俱楽部でできる限りの感染予防対策を行いました。

来年も引き続き“with コロナ”で予防は必至かと思えます。対策をしっかりと行い、安心して楽しく参加していただけるよう努めますので、ご協力よろしくお願いたします。

<初参加スタッフ：中村さんの感想>

子供たちと接して、何でも興味を示し、とにかくあれもこれも「やりたい!」と積極的な有り余るパワーに付いていくに必死、アマビエ制作でも発想のユニークさに感心しました。他のスタッフが自然に業務分担を心得ていて、またキッズへの声掛けも上手にしていたので見習いたいと思いました。また機会があれば参加したいです。



食と農の映画祭

「食と農の映画祭」が開催されます。環境を守る一団体としてもりメイト倶楽部も当初から協賛しています。今年は新型コロナ対策により、通常とは異なり2日間の上映となります。詳しくはHPをご覧ください。

【日程】 12/5(土), 6(日) 9:00~21:00 チケットは上映回指定の前売り券¥1,300(当日券は無し)
【会場】 県立美術館 地下講堂 【上映作品】・「タネは誰のもの」・「ビッグ・リトル・ファーム」他

秋晴れの爽やかな日、広島市植物公園で行われた“秋のグリーンフェア”。9時を過ぎると「もう開いてますか？」と早速声をかけられ、バタバタと開店です。

私は受付を担当し、コロナ対策として検温と住所氏名の記入、席が一杯になるとお断りするか待っていただく様をお願いをしました。

いつも少しくらいは待つでしょう？と思われるでしょうが、ソーシャルディスタンスで机1個に1人の予定のため当初6席しかなかったのです。そして最盛期には長蛇の列！作りたい物があるおさんは辛抱強く待って下さり、秋日和の中どれくらいお待たせしたのか・・・。

私は見て見ぬフリをするしかありません。お客様同士席を譲り合いながら段々とテントの外の休憩席や芝生の上に座り込みながらとフリースタイルになり、問題が起きることもなく、作品を作り終わると笑顔で帰って行かれました。

予想以上の人の多さで、会員の方々も立ち通し。とにかくお客様を回さなければと休みなく動き回り、終わる頃にはクタクタでした。準備していたトラック・箱庭・猿・木絵・半割り椅子はほぼ完売し、完成品で販売した花車(10個)は若い人が多かったせいか、あまり興味を示さず4つしか売れず残念でした。参加者は125人でした。コロナ禍の下、全員臨機応変に対応できたとは思いますが、今までとは違う形の対応が必要なのだと痛感しました。



盛り上がった、秋のグリーンフェア。コロナ対策も。



今ひと枝

原田 澄



エノキ (榎) <アサ科・エノキ属>

落葉高木。本州から沖縄の暖温帯に自生する。葉は、互生し、葉身は長さ5～9㎝の卵形から卵状楕円形。葉先半分に鈍い鋸歯があり、葉の基部から長く伸びる3本の葉脈が目立つ。雌雄同株で、春に葉の展開と同時に淡黄色の細かい花を付ける。実は直径6㎝ほどの核果で秋に橙色から赤褐色に熟し、甘みがあり野鳥の好物。かつては、街道沿いの一里塚や村の境界などの目標樹として植えられていた。名の由来は、果実を小鳥が好んで食べることから「餌の木」、鋸など農機具の柄に利用されていたことから「柄の木」など諸説ある・・・▼樹々が色付き始めた。エノキの黄葉もイチョウに劣らず美しい。美しく紅葉するためには、温度、光、湿度の3つの条件が必要。▼湯来での例会時の集場所に、大きく枝を広げたエノキの大木がある。夏には緑陰を、野鳥には食料源。葉は、国蝶オオムラサキの幼虫の餌になる。多くの生き物を育むエノキ、支え支えられ命は繋がる。

～佐伯区湯来町 2020・10月～



—11月— 活動の予定

下記のイベント参加と材料作りが主な作業となります。

- 11月8日(日)【己斐上学区子供会木工クラフト】
：安佐北区白木町妙國寺裏 (スクスクの森)

～皆様の参加お待ちしております～

【材料づくり】：安佐南区山本町鹿ヶ谷

- 7日(土)、14日(土) 21日(土)、28日(土)
- 連絡先：本廣 090-4141-8603



- 日時：11月8日(日) 9時～
- 場所：妙國寺裏山スクスクの森
安佐北区白木町秋山
- 作業：妙國寺裏山スクスクの森
での四阿建設—Part 4—
『完成目指して!』
- 持参品：水筒・弁当・山の道具
- 連絡先：岩田 080-5751-3798



11月の環研は休会とします。次回は

- 日時：12月7日(月) 18時30分～
- 場所：広島市まちづくり交流プラザ3階
テーマは来年度「もりメイトキッズ」について。
環境教育に関心のある方は、
どなたでも気楽にご参加下さい。
Welcome!



～メール会員募集中～
引き続き募集しています。
なお、会報が届かなかった時は
事務局までショートメールか電
話にてご連絡下さい。
事務局：090-6419-7531

10月21日(水)に10月9日の向原の鷹ノ巣山にて行われ
た学校間交流の様子が見逃し配信「RCC PLAY!」で11
月末まで見ることが出来ます。
「森づくりって面白い 小学生と体験」を検索して下さい。
<https://play.rcc.jp/player/news/6203054055001>



- 12月号の会報発送作業は
下記の通り、実施します。
- 日時：12月2日(水)
18:00～20:00
 - 場所：市民交流プラザ3F
(袋町小学校隣り)



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って
人工林の間伐や都市公園の除伐整備など地域の人と一緒に活動を展開しています。また、会員への技術
研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用したクラフトの作成指導なども行っています。
私たちの活動に共感、賛同して頂ける方のご寄付または会員として活動して頂ける方を募集しています。

会員の種類

【正会員】：倶楽部の目的に賛同して積極的に活動するために入会した個人及び団体。

年会費

【個人会費】：3,000円
【企業会費】：50,000円

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで
【電話】090-6419-7531
【Email】info@morimate-ch.com

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3 2 8 3 3 8 3
【ゆうちょ銀行】1 5 1 7 0 - 1 8 0 2 9 2 9 1
《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》